

暫 定 版

※確定版の会議録ではありません。今後修正される可能性がありますので、御注意ください。

総 務 委 員 会 記 録

日	令和 7 年 4 月 24 日（木）（閉会中）			
時	午後 2 時 0 分 開議（ 休 憩 な し ） 午後 2 時 9 分 散会			
場 所	第 1 委員会室			
出席委員	伊 藤 隆 広	渡 辺 忍	黒 澤 和 泉	山 崎 真 彦
	桜 井 秀 夫	佐々木 友 樹	米 持 克 彦	石 橋 毅
	三 瓶 輝 枝	野 本 信 正		
欠席委員	な し			
担当書記	石 黒 薫 子			
説 明 員				
審査案件				
協議案件	行政評価に関する提言書について			
委 員 長 伊 藤 隆 広				

午後２時０分開議

○委員長（伊藤隆広君） 皆様、お疲れ様でございます。

本日は大変お忙しい中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。

ただいまから総務委員会を開きます。

行政評価に関する提言書について

○委員長（伊藤隆広君） 本日は、行政評価に関する提言書について、御協議をお願いいたします。

前回の委員会におきまして、年間調査テーマであります行政評価について、調査を通じて、委員の皆様からいただきました御意見等を踏まえ、執行部に提言書を提出したい旨、御了承いただきました。

その後、正副委員長におきまして作成させていただきました案文を、委員の皆様にあらかじめお目通しいただいておりますが、改めまして内容について発表させていただきます。

事務事業に対する行政評価についての提言書案。

令和６年度千葉市議会総務委員会では、行政評価についてを年間調査テーマとして設定し、本市にとってあるべき事務事業に対する行政評価の実施に向け、事務事業の見える化、システム化や、手法の工夫による職員の負担軽減、決算審査や予算査定との連動等の視点から調査を行い、本市の取組について検証いたしました。

結果、行政評価については、具体的な手法については課題があり、各委員で共通の見解を得なかったものの、事務事業の全体像や各事業の概要を把握するために、事務事業ごとの情報をまとめた事務事業シート（仮）を作成、公表することについては、各委員共通の見解を得ることができました。

つきましては、下記のとおり提言を行います。鋭意取り組まれることをお願いいたします。

１、本市で実施している事務事業の全体像や、各事業の概要を把握するために、事務事業ごとに、事業名、事業概要、根拠法令、予算、決算（財源内訳）、目標、実績等をまとめた事務事業シート（仮）を作成し、公表すること。

２、事務事業シート（仮）の作成に当たっては、予算査定時、決算審査時を含め、各所管で既に作成している書類や評価書等を活用し、事務負担を考慮し実施すること。

３、事務事業に対する行政評価については、将来的に、事務事業シート上で実施することを見据え、効果的な手法について検討すること。

４、事務事業シートは、財務会計システム等と連動することで効果的なものとなることが期待できることから、システム化について検討すること。

以上でございます。

それでは、ただいまお示しさせていただきました本提言書案の内容について、何か御意見等はございますでしょうか。三瓶委員。

○委員（三瓶輝枝君） ここまでまとめていただきまして、正副委員長並びに事務方の皆様にはお礼を申し上げたいと思います。

私としては、もう言っている内容に賛同するというのとあわせて、以前から申し上げているように、職員の皆さんの事務負担を、これまで全事業2,000事業から300事業、あるいは30事業にまで減らしてきたという経緯がございます。そういった意味で、今まで千葉市としては確立してきていると思うのですが、それでも他市を調査させていただくことによって、全部を見ることによって、一つ一つの事業のありようというか、予算審査や決算審査でも生かされるような議員としての取組、あるいは、市民の皆様にも見ていただいて、その考え方をまたフィードバックしていただいている市もございましたので、そういった観点から進めていただくのはいいと思うんですが、私としては、せっかくこのようにやってきた中で、あまりに急にという事務負担が一番懸念されるので、この総務委員会はもう終わってしまいますけれども、いつから始めていつまでやるのかとか、1年ぐらい試行でやるのかとか、あるいは、何年後には全部完成するとか、始めるタイミング、あるいは、そういったロードマップ的なもの、次に引き継いで、当局とこの話し合いをしていってもいいと思います。

もう一つは、実際に今、この4月で職員をまた新しく採用してもらったんですけれども、実は、まだ人員適正化計画の中で30人足りないと、そこは具体的にどこなのかと聞いたら、やはり保健福祉局なんです。児童相談所だったり、生活保護だったりというところなので、そういった四六時中忙しいようなところの配慮も同時に必要なのではないかと感じた次第です。議会でもそのような考えが出ていますということを、市長と面談するときに言っていくというのもいいと思いました。

いずれにいたしましても、こんなに膨大なものを適切に分かりやすくまとめて、私も、そうだったなと思い出しながら読ませていただきました。ありがとうございました。

以上です。

○委員長（伊藤隆広君） 内容については御賛同いただけるということですね。三瓶委員。

○委員（三瓶輝枝君） もちろんそうです。

○委員長（伊藤隆広君） ありがとうございます。

ほかにございますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（伊藤隆広君） それでは、お示しさせていただきました案文をもって決定させていただくことでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（伊藤隆広君） ありがとうございます。

お示しさせていただきました案文をもって決定とし、議長及び市長宛に提出させていただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

以上で、行政評価に関する提言書についての協議を終了いたします。

なお、年間調査テーマ、調査報告書の内容につきましても、事前に確認いただいておりますが、この内容で確定とさせていただきたいと思いますので、御了承願います。

それでは、改めまして、年間調査テーマに御協力いただきまして、本当にありがとうございました。最後に、委員長より御挨拶ということで、少しお時間をいただきたいと思います。

最後に御挨拶を申し上げます。

本日をもちまして当委員会が終了することとなりますが、委員の皆様には、委員会での審査

や、また行政視察で、本当に御協力を賜りまして、おかげさまで充実した委員会になったと思っております。厚く御礼を申し上げます。

議案の審査に当たっては、皆さんの質問とか御意見とかを伺っていく中で、こういう視点で質問されるのかとか、調査されるのかということを本当に学ばせていただきましたし、また、時折見え隠れする、委員の皆様がお持ちのふつふつとした情熱、魂の部分も見させていただいて、非常に勉強になりました。

また、年間調査につきましても、このように提言書をまとめさせていただくことができ、本当にうれしく思っております。この提言書をもとに、どういう形で執行部に御検討いただけるかは分からないんですが、執行部にとっては業務改善のツールになると思ってますし、市民にとっては、情報公開とか、説明責任を一層進めるものになると思います。議会にとっても、先ほど三瓶委員におっしゃっていただいたとおり、予算とか決算とかの審査、そういったところのより充実した審査に繋がることなど、本市にとっていろいろな可能性を含んだものであると思っておりますので、提言書まで御協力いただいて本当に感謝しております。本当に充実した1年間でありました。心より御礼を申し上げまして、委員長挨拶とさせていただきます。

本当にありがとうございました。（拍手）

以上で、総務委員会を終了させていただきます。

ありがとうございました。

午後2時9分散会